

令和5年度 第2回 佐鳴台中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月20日（金） 13時15分から15時15分
- 2 開催場所 佐鳴台中学校 会議室
- 3 出席委員 栗田 高典 橋本 博行 中条 操 大塚 幸作
大屋 久美子 鈴木 秀昌 高御堂 仁美
中野 昭良
- 4 欠席委員 嶋津 歌絵
- 5 学 校 守屋 謙一郎（校長） 門名 由佳（教頭）
坪井 秀臣（教務） 三浦 優介（生徒指導）
城本 絵美（CSディレクター）
- 6 教育委員会 鈴木 陽子
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議記録作成者 CSディレクター 城本 絵美
- 9 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、中条委員から会長を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。
- 10 協議事項
 - (1) いじめ防止基本方針に基づく取組み
 - (2) 前期学校生活アンケート結果についての検討
 - (3) 全国学力・学習状況調査の結果
 - (4) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況
- 11 会議記録
 - (1) いじめ防止基本方針に基づく取組みについて
いじめ防止基本方針について説明（生徒指導）
 - ・ヤングケアラーについて、小学校と情報も共有しているのか教えてほしい。（中条委員）
→SSW 連携をとりながら、外部機関と対応を進めている。本人や保護者にも聞き取りをしながら対応している。小学校の情報は共有していない。（生徒指導）
 - ・気になる生徒や不登校生徒はクラスに何人くらいいるのか。具体的な事例なども大まかに知りたい。保護者会などで、保護者にも現状を具体的な形で伝えられれば、親の立場からしても安心できるのではないか。（大屋委員）
→不登校は6月より減少している。不登校生徒は、校内まなびの教室を活用したり、リモート授業を行ったりして対応している。（校長）
 - ・「学校は楽しいか？」のアンケート結果のそう思わない（5%程）と回答した生徒の具体的なフォローはどのようになっているのか。（鈴木委員）
→月一回のアンケート（こころのけんこうチェック）を行い、生徒の変化を捉えている。また、いじめ対策委員会を週一で行い、情報交換をしながら、心の部分に寄り添い取り組んでいる。（校長）
→気になる生徒には担任を中心に聞き取りを行い、学校・学年でも対応している。HPには佐鳴台中学校いじめ防止基本方針も示されている。（生徒指導）
 - ・いじめ対応研修では決められたガイドラインに基づいて行われていると思うが、どういう状況になったら保護者に情報共有するのか。どのような基準か。（鈴木委員）
→相談や情報を得た場合、保護者と情報を共有して、同じことを繰り返さないようにしている。（生徒指導）

- ・年度初めにアウトラインを保護者に発信すれば、どういう時にどういった対応をしているのかわかると思う。フローチャートを追加してもらえると分かりやすい。(鈴木委員)
- いじめの認知やアンケート(こころのけんこうチェック)で気になることがあれば保護者に連絡している。何かあれば連絡することは必要不可欠なことである。保護者への連絡方法については佐鳴台中学校いじめ防止基本方針(HP)の中でも分かるようにしていくことは必要だと思う。(校長)

(2) 前期学校生活アンケート結果についての検討

(3) 全国学力・学習状況調査の結果について

前期学校生活アンケート結果について説明、引き続き全国学力・学習状況調査の結果についても説明(教務)

- ・保護者からの意見、学校行事に対してどのように望んでいるのか分かればこういった場でも協力ができるのではないかと。(大屋委員)
- マスクの装着問題や体操服の湯気が悪いなどの意見をもらっている。(教務)
- マスクについては、熱中症の心配もあるため、外すように指導をしながら、個人の体調とあわせて進めている。(教務) 体操服については現在検討している。(生徒指導)

(4) 外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況について

外国につながる生徒の『放課後勉強会』の実施状況について説明(教務)

- ・勉強会に協力いただけるボランティアの方がいれば紹介してほしい。(教務)
- アイデアとして、生徒同士というのはありか。教える方も学力向上につながるし、高校生もやってくると輪が広がってよいのではないかと。(鈴木委員)
- 中学生でも進んでやってくれる生徒がいれば有り難い。(校長)
- ・放課後勉強会のボランティアの方の基準は設けているのか。(鈴木委員)
- 現在基準を設けているわけではないが、KSC(放課後勉強会ボランティア)は、HICEのボランティア養成講座を受け、いろいろな小中学校で勉強会を行っている。また佐鳴台小学校で10年以上の実績があり、ご紹介いただいたという経緯となる。(教務)
- ・今後部活動がクラブ化してくるなど外部委託が増えてくると思うので学校に入る人を規制し、学校でもチェックできる体制があるといいと思う。保護者も心配。(高御堂委員)
- 資質・能力もあるのでただボランティアでやりたいという人を入れていくという形にならない方がよいと思う。(大塚委員)
- 現在市吹奏楽部の外部指導者に関しては教育委員会、校長の方でも面接をして実績も見ながら行っている。(校長)
- この件は今後どのような形で行っていくか協議していく必要がある。(鈴木委員)
- ・外国につながる生徒の指導・支援(生徒指導、進路指導等)については、次回の話し合いに入れていきたい。(校長)

1.2 報告

○夏休みの学力補充学習について

- ・楽しく一緒にやらせてもらった。もう少しボランティアが集まるといい。(中野委員)

○3年生の面接練習

- ・私立1月、公立2月で実施予定。後日、日程をお伝えするのでご協力いただきたい。(教務)

その他報告事項等

- ・学校運営協議会自己評価表を記入し、学校に提出いただきたい。(〆切11月10日)
- ・司会の教務から、次回会議は令和6年2月22日午後1時15分から佐鳴台中学校会議室で開催する旨の報告があった。
- ・実態把握調査を記入し、提出していただきたい。